

～ブルーマウンテンズ派遣レポート 2019.7.25-8.8～

大阪教育大学附属高等学校池田校舎2年 岡田 龍人



今回、私は親善大使として三田市の姉妹都市の1つであるオーストラリアの Blue Mountains (ブルーマウンテンズ) 市に約2週間訪問させて頂きました。短期間ではありましたが、様々な場面で日本との違いを感じることができ、一瞬一瞬が私にとって貴重な経験で、とても充実した時間を過ごすことができました。

① 私のホストファミリーについて



私は約2週間、Graham 家族にホームステイさせて頂きました。最初から初対面の私に優しく接して下さり、ホームシックなんて1秒たりとも感じませんでした。私と常に一緒に行動してくれたホストブラザーの Stephen(スティーブン)はスポーツが得意でありながら頭もよく、日本語も話せました。また、3歳年下の妹 Eleni(エレニ)と6歳年下の弟 Michael(マイケル)がいて、兄弟3人ともすぐに私を受け入れてくれてとても仲良く過ごせました。毎日のように家族とボードゲームをして遊び、日本での生活とは全く異なる非常に貴重な時間の使い方が出来ました。

② 学校について

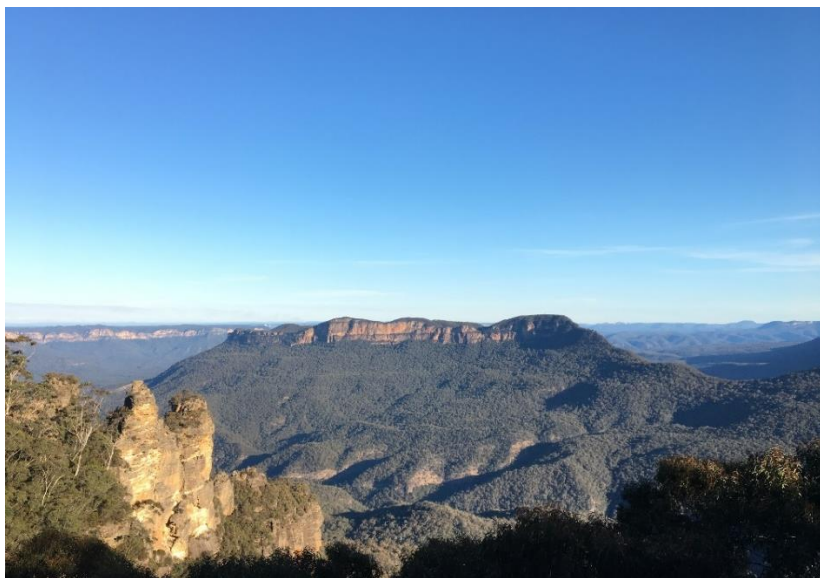
私が通っていた学校はSpringwoodにある St Columba's Catholic College というカトリックの学校で 日本という中高一貫校のような6年制で共学の学校でした。



1学年180人6クラスで Yrs. 7-12 までの生徒が通っており、私が衝撃を受けたのは日本の学校と違って学年や男女の関係なく誰とでも会話をしたり、男女一緒にランチを食べたりするほど仲が良かったです。RECESS という20分休みとランチの時間があり、友達と過ごす時間は非常に多い印象でした。私はスティーブンがいる Yr. 10 のクラスに出席し、受けた教科は英語・数学・理科・宗教・地理・体育・日本語の授業でした。そこで私は日本とオーストラリアの教育の違いを感じました。それはほぼ全ての

授業において教科書が無くプリントだけで、また先生は講義をせず生徒たちが主体性を持ってディスカッションを行い、ひとりひとりが iPad や Mac book を使って調べたことをまとめるような授業でした。2 学期制で成績優秀者には表彰式などがあり、欧米の実力社会だと感じられる所もありました。

③ ブルーマウンテンズについて



姉妹都市の Blue Mountains (ブルーマウンテンズ) はブルーマウンテンズ国立公園が町の大部分を占めており人口は約 8 万人弱の町です。シドニーから車で約 1 時間ちょっとの場所に位置します。Katoomba (カトゥーンバ) に市役所や市議会があり、都会に近いが自然が豊かという立地は、非常に三田市と似た構成になっています。大自然に密接しているため、とても空気が澄んでいました。

<オーストラリアでのスケジュール>

【7/25(木)】

関空発カンタス航空搭乗 10 時間フライト

私にとって初めての国際線でしたが、機内では寝ずに音楽を聴きながら持参した英会話の本を読んでいたところ CA さんから頂いたバナナがいきなり海外サイズでした。初めて国際線に乗ったことで分かったこととして、海外の航空会社には男性の CA さんがおられたので日本の国内線から見ると海外は日本と比べて男女平等社会が進んでいるように感じられました。



【7/26(金)】現地 1 日目

早朝にシドニー国際空港に到着し、ターミナルで待つ多くの外国人に最初は見慣れませんでした。私たちを迎えに来てくださった Janne さんと無事に会うことが出来てほっとしました。空港から Blaxland (ブラックスランド) まで行き、オーストラリアのマクドナルドに立ち寄り、朝食にビッグマックセットを食べました。

その後、ホストブラザーの学校に行き、スティーブンと対面しました。第一印象はガッチリした体格で大人な雰囲気でした。そして中庭に出るととても綺麗な校舎が見えて、まさにハリーポッターのような世界でした。



初日に受けた授業は、生物・技術でした。技術の授業は Woodwork と呼ばれ、家具などを作ったりしてとても楽しい授業でした。初日はホストマザーが学校まで迎えに来て

くれて、帰宅し家族全員と会い挨拶をしました。さっそくみんなで「UNO」や「Wii」をしたり日本のお土産をプレゼントしたり、持参した写真を見せてあげたりして、すぐに打ち解けることが出来ました。

【7/27(土)】現地 2 日目

朝から車でシドニーへ行き、まずはタロンガ動物園に行きました。コアラやカンガルー、ワラビー、ウォンバットといった有名な動物からエミュー、ハリモグラ、クッカバラ、カモノハシといったオーストラリアの固有種の動物まで様々な種類の動物が見られました。

その後、ハーバーブリッジを渡ってオペラハウスに行きました。



シドニーハーバーブリッジは1149mと、思っていたより短かったですが、支えとなっている鉄のアーチは美しく、アーチの上には頂上まで登るブリッジクライムをしている人達もいました。オペラハウスの周辺の地下駐車場に車を停めて歩いて行くと、そこには屋外のレストランやバーが並んでいて、バーでは小さなステージで若い男性たちが楽器を演奏して歌っていたのが非常に盛り上がっていました。生で見たオペラハウスは白の屋根の曲線美が凄く、それと同時にあの大きな屋根はどのようにして支えられているのか疑問になりました。私が行った時にはちょうど日が沈もうとしていて夕日がものすごく綺麗でした。私と家族は近くの屋外レストランでハンバーガーやクリスピーチキンを注文して食べました。サイズはビッグマック以上に大きかったですが、非常に美味しかったです。



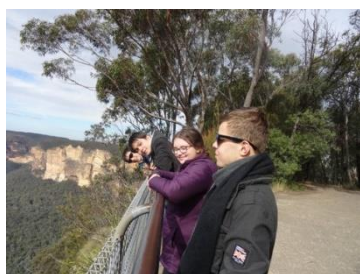
【7/28(日)】現地3日目

この日は昼過ぎに家を出てシドニーにAFLの試合を観戦しに行きました。AFLとはオーストラリアンフットボールリーグのことでオーストラリアのラグビーに似たスポーツですが、18人制でボールはラグビーボールより一回りほど小さく、パスはパンチングかキックで、何と言っても走る距離が半端ではなかったです。ホストファミリーは家族全員、AFLが好きで地元の「シドニースワズ」を応援していました。私はスタジアムのSCG(シドニークリケットグラウンド)に着くとルールを調べながら見ていましたが、ルールは非常に分かり易く、見ていてとても面白かったです。ファインプレーが起きると入場した時に配られる蛇腹にした紙で音をたてたりし、ファールなどを起こすと一斉にブーイングをしたりして迫力が凄かったです。試合が終わるとフィールドに観客が降りてきて自分たちで持ってきたボールで遊ぶというのが恒例になっていました。帰りの夜にはレストランで牛肉と豚肉のスモークとフライドチキンを食べました。特に豚肉のスモークが凄く柔らかく美味しかったです。



【7/29(月)】現地4日目

朝から越川君とホストブラザー達と姉妹都市委員会のジャンさんと車でKatoombaに行き副市長さんにお会いしてきました。日本から持って行った三田の英語のパンフレットを見せながらお話しすると非常に喜んでくださりました。その後、昼食にサンドウィッチを食べてエコーポイントに向かいました。エコーポイントに着くと中国系のアジア人観光客が非常に多かった印象でした。エコーポイントからはスリーシスターズを見ることができ、見渡す限りの大地で海外に行ったことがなかった私は世界の広さを痛感しました。ブルーマウンテンズは町の中でも高低差があるところが多かったので坂道が多くかなり車酔いをしてしまいました。



【7/30(火)】現地5日目

初めてのスクールバスに乗って学校に登校しました。バスの中でも話しかけてくれる子が多く助かりました。この日の6限目にはクラス全員で仲良くバレーボールをし、バレー部の私がスパイクを打つと周りの子たちは私に驚いて、そこから距離が縮めることが出来ました。言葉は通じなくてもチームスポーツなどではお互いを理解し合うことができるということを改めて感じました。



【7/31(水)】現地6日目

この日は前期成績優秀者の表彰式が学校横の教会で開かれ、ホストブラザーが表彰されていたので私も参加させて頂きました。想定以上に多くの保護者の方が教会に来られていました。頑張った分しっかり表彰される成果主義なところは日本に比べて優れていると感じました。放課後はホストブラザーが所属する地元のサッカーチームの試合を見に行きました。試合から帰ってきた後はVRゴーグルをつけてライトセイバーを振り回してスターウォーズのアクションゲームをしました。オーストラリアはゲームソフトなどが安いそうで、いろいろな初めてのゲームをさせてもらいました。



【8/1(木)】現地7日目

木曜日には様々なアクティビティをする「スポーツ」の時間があり、ホストブラザーは地元の消防士さんと消火訓練するプログラムに参加していました。私はブートキャンプのプログラムに参加することになったのですが、ホストブラザーがプログラムに行ってしまうと、迷子になって中庭で独りに。そのときに同じクラスの子達が私の方に寄ってきて、一緒に校内を歩きまわるプログラムに誘ってくれて、そのプログラムに参加できたことで歩きながら英語で会話出来る機会ができました。



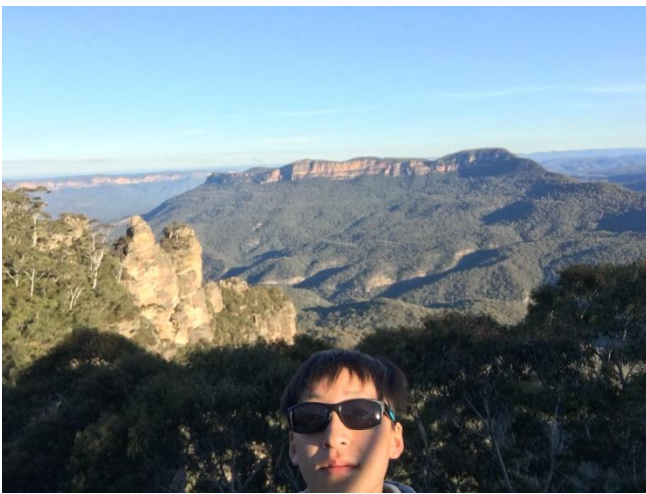
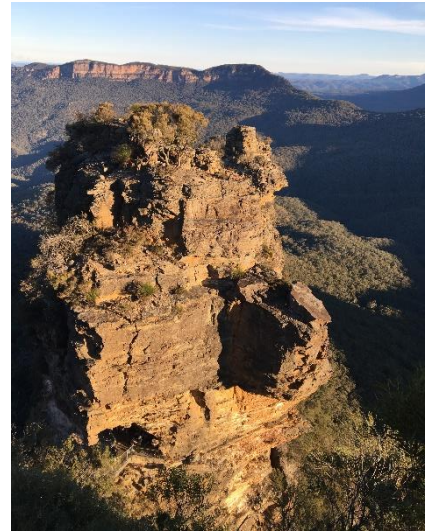
【8/2(金)】現地8日目

この日は学校から帰ってくるとホストブラザーが親戚の家にバイトに行ったので弟のマイケルとホストマザーとショッピングセンターに行きました。一週間に金曜日だけが午後6時まで営業しておりオーストラリアの人は日本と少し違って夜に家族と一緒に家でご飯を食べる習慣が根付いているように見られました。ショッピングセンターの中には自動販売機があり、そこではコココーラが4豪ドルで販売されていて日本円で320円でした。そこでオーストラリアの物価の高さを感じました。



【8/3(土)】現地9日目

午前中はホストブラザーのサッカーの試合を観戦しに行き、午後に家族で再びエコーポイントに行きました。この日は少し肌寒かったですが、快晴だったので景色が素晴らしかったです。時間があつたのでスリーシスターズのすぐそばまで行きました。右の写真では最も左の岩が映っていて、実は岩の内部まで行くことが可能だそうです。その後、お土産を買いに行きました。ちょうど200豪ドル買うと三割引きにもらえることができ、店員さんから「Good shopper!」と言われ、最初に頭に？が浮かび調べてみると「賢い買い方」だという意味でした。このような普段の勉強だけでは知れないネイティブな英語に触れることができ良かったと感じました。



【8/4(日)】現地10日目

この日はホストブラザーのAFLの試合を観戦しに行きました。やはりオーストラリアの国技とあって学生の試合でも観戦しに来る人が多かったです。オーストラリアは夏にクリケット、冬にAFLが盛んになるとホストブラザーに教えてもらいました。この日の試合は地元リーグの決勝だったようですが大差をつけて圧勝していました。試合後はホストブラザーの伯母さん夫妻の家にお邪魔させて頂いて庭にはプールがあったことに驚きました。家の中ではPS4でホストブラザーとレーシングゲームで遊び、夕食は家の窯で焼いたピザを食べさせて頂きました。ホストブラザーの伯父さんは日本に行ったことがなかったみたいで日本の食などについていろいろと質問してくださりました。



【8/5(月)】現地 1 1 日目

学校のリトリートプログラムというギターを弾く男性から宗教的なお話を聞いたり、みんなで音楽を聴いたり歌ったり踊ったりする校外学習のためシーニックワールド横にあるホールに行きました。この日だけは私服で通っても良い日でみんな思い思いの格好をして来ていました。この日の最後にはみんなで歌って踊る時間があり、その時に私が知っていたジャスティン・ティンバーレイクの「Can't stop the feeling」という曲で自由に踊ったり、「Macarena」という曲をみんなで踊ったりしました。私が最も驚いたのは男女でペアになって踊る、ハグをすることでも気にせず、挨拶くらいの軽いスキンシップでふれあっていたのは男女に明確な壁を気付く日本人と違って良い点だと感じました。



【8/6(火)】現地 1 2 日目

この日は日本語クラスの授業中に英語で私の学校生活や日本のユニークな文化について紹介しました。オーストラリアでの生活は日が変わるまでには寝ていたので夜 1 時過ぎに寝ているというと驚いていました。また、その日本語クラスを受けていた生徒は全員学校のプログラムで日本に行った経験があったようで、私が自動販売機の写真を見せるとすぐさまに「日本で見たものだ！」と言ってきて、オーストラリアにはほとんど無いことからかなり驚きだったようです。英語での紹介は何とかやり終えることができました。私が日本語クラスにいさせてもらって感じたことは自分の国の言葉を日本が好きだからという理由で日本語を勉強してくれていることにとても嬉しくなりました。



【8/7(水)】現地 13 日目

学校に通うのはこの日が最終日でした。朝に全校朝礼を開いてもらい1分間ほど全校生の前で感謝のスピーチをさせていただきました。すると校長先生から学校の帽子や校章の入ったネクタイ、ペン等を頂きました。家に帰る時にスティーブンがスプリングウッドの商店街でお土産を買わせてくれました。家に帰るとホストブラザーと妹と弟で「君の名は。」を英語字幕で観て、日本語が少し分かるホストブラザーは妹に同時翻訳していました。最後の夜という事で家族写真を撮ってもらいました。深夜までホストファミリーに手紙を英語で書きました。



【8/8(木)】現地 14 日目

朝 4 時に起床して2週間ありがとうと家族に伝えて、手紙をこっそり置いて迎えに来てくださったジャンさんの車に乗って空港に向かいました。空港に着くと待っていてと言われた場所が分からず迷子になりましたが、何とか出会えました。その後スーツケースを預けてジャンさんにお礼を言って搭乗口に向かいました。ターミナルでは機内で食べるマクドナルドや飲み物を買って飛行機に搭乗しました。その日の夜に関西国際空港に帰国しました。



今回の派遣にあたっては三田市国際交流協会、Blue Mountains Sister City Committee、St Columba's Catholic College、Graham family など

ここには記しきれない多くの方々の御尽力を得る機会に恵まれました。

まことに幸運な機会であったと、心から感謝いたします。

私にとって初めての海外でしたが、いろんな良い刺激を得ることが出来ました。

それと同時に自分の英語力がまだまだ足りないことも発見できたいい機会になりました。

私は今回の経験をこれからの将来に活かして行き、国際人の一人になれるよう

努力していきたいと思えます。

そして何年後かにもう一度ブルーマウンテンズを訪れて

ホストファミリーのもとに会いに行こうと思えます。